

【モニタリング項目 ID1 : 気象データの測定】

1. モニタリング計画での位置づけ

- (1) 管理目標：0 基礎的環境情報が把握されていること
- (2) 評価項目：－
- (3) モニタリング項目：気象データの測定
環境省担当分：気温、湿度、地温、降水量
- (4) 評価指標：1－
- (5) 評価基準：－

2. 調査箇所等

- (1) 調査箇所：西部地域の標高 0, 300, 500, 700, 900, 1200, 1400, 1600m
東部地域の標高 1000, 1300m
中央山岳部の標高 1500m
- (2) 調査頻度：60 分毎
- (3) 調査内容：気象機器によりデータ取得

3. 使用機材とモニタリング地点

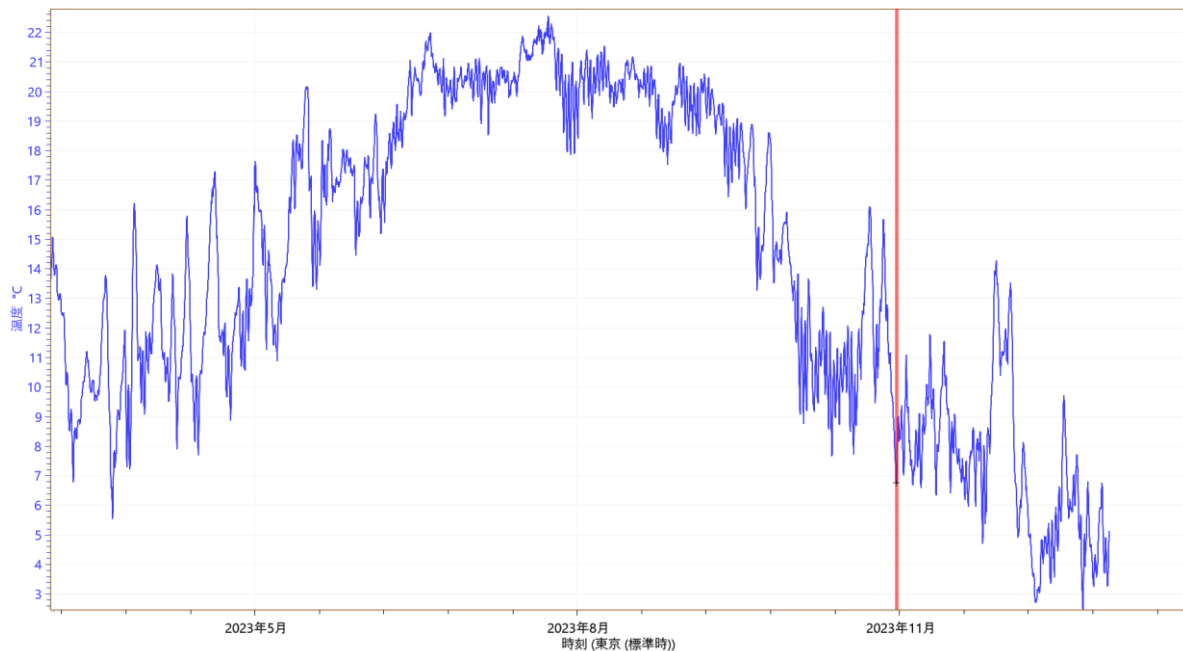
表 環境省 気象機器一覧（試験的運用として設置）					
地温計 2012.1～HOBO Pro V2 U23-003 2023・4年度～ TidbiT MX2204	西部	大川の滝	0m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
		小楊子林道	300m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
		花山歩道	500m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
			700m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
			900m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
			1200m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
			1400m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
			1600m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
	東部	ヤクスギランド	1000m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
		淀川登山口	1300m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
温湿度計 2012.1～ HOBO Pro V2 U23-002 2023～ MX2302A	中央	新高塚小屋	1500m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
	西部	大川の滝	0m	継続	稼働中
		小楊子林道	300m	継続	稼働中
雨量計 KDC-501-JM TAMAPod LLUVIA2 (2019.12設置)	中央	新高塚小屋	1500m	継続	稼働中：故障による欠測期間あり
	中央	新高塚小屋	1500m	継続	稼働中

4. 稼働状況

①地温計 【調査継続】

- ・さびや断線の多かった HOBO Pro V2 U23-003 から完全防水型の機種(TidbiT MX2204)に移行したが、新機種についても、野生動物に掘り返される、持ち去られる、噛まれる事案が発生している。

【地温データの一例】 ヤクスギランド 2023 年 3 月 1 日～2024 年 1 月 12 日迄



②温湿度計 【調査継続】

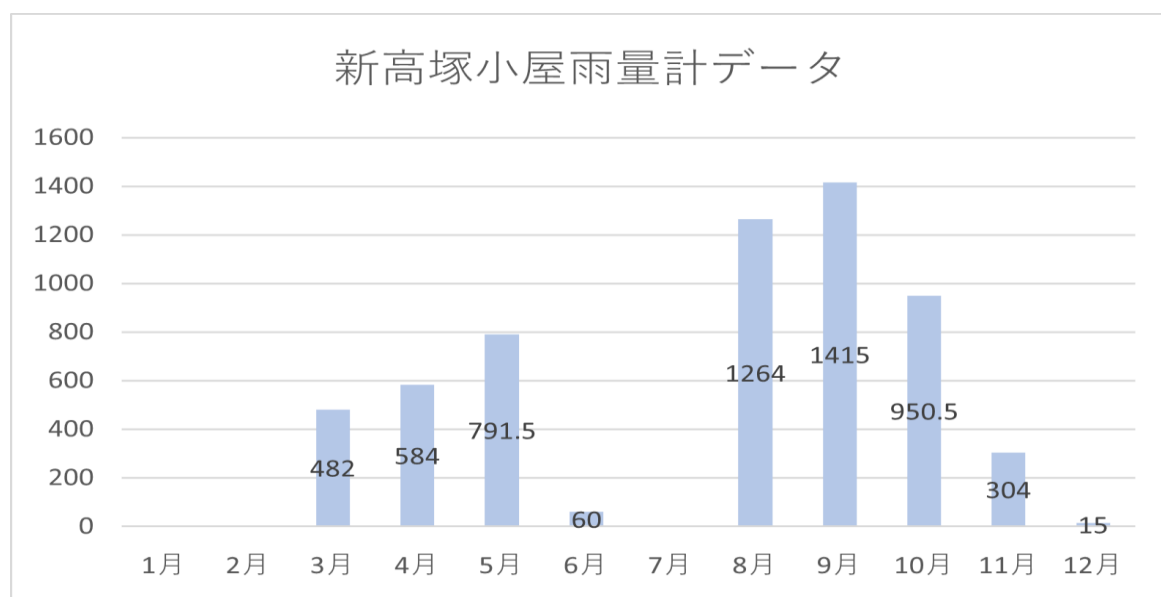
- ・大川の滝、小楊子林道(300m)、新高塚小屋裏(1500m)の3か所に設置。
- ・2023 年度から新機種に移行した。(MX2302A)

③雨量計 【新高塚小屋の降水量測定】

- ・2019 年 12 月より計測。10 分間、1 時間、24 時間、降り始めからの雨量の4項目を計測。
- ・本体は機密性の高いケースに入っているが、季節を問わず結露が生じやすい。
- ・枯れ葉の除去など定期的なメンテナンスが必要である。

【新高塚小屋雨量計データの一例】

2024 年 1 月 1 日～12 月 11 日迄の月ごとの雨量



※1 月 1 日～3 月 14 日、6 月 8 日～8 月 22 データ欠測

- ・ 2024 年の合計雨量は 5,866mm (欠測期間があるため参考程度)
- ・ 8 月 30 日に降り始めからの最大雨量 1228.5mm を記録。(8 月 27 日～台風 10 号が接近)

5. 今後の取組案

- ・ 計画的に気象機器の維持管理、データ回収を行うとともに、地温計のデータ活用の可能性などを検討していきたい。